

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

技術情報

いもち病の防除について

葉いもちの発生は、全県的には平年並ですが、梅雨明けが遅れ、その後も曇雨天が続いており、一部で発病が目立つほ場が見られます。

長期の気象予報では、晴れの日が少なく、本病が発生し易い条件が予想されます。

現在、水稻の生育は出穂前～出穂期を迎えており、いもち病の穂への感染が懸念されます。

つきましては、葉いもちの発生状況の確認に努め、穂いもちの予防散布に努めるように指導願います。

1 作物名 水稻

2 病虫害名 穂いもち

3 調査結果(8月2半旬)

定期巡回調査における葉いもちの発生ほ場率は平年並、発病株率及び発病度は平年よりやや低く、前年よりやや高かった。

発生ほ場率：28.0% (平年 28.9%、前年 21.1%)

発病株率：6.8% (平年 9.0%、前年 3.9%)

発病度：1.8% (平年 2.5%、前年 0.9%)

また、発病株率が50%以上のほ場が5%の調査地点で確認された。

4 防除上注意すべき事項

(1) 8月7日発表の福岡管区気象台の1か月予報では、気温は平年並か平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年よりやや短いか平年並と予想されており、穂いもちが発生し易い状況が懸念されるので、ほ場での葉いもちの発生状況を必ず確認する。

(2) 普通期栽培では、粒剤・粉剤等で出穂直前の薬剤防除を徹底する。

出穂期の基幹防除が終っている早植水稻で、葉いもちの発生が多いほ場では、枝梗いもち対象の補正防除を実施する。

防除薬剤については、「平成21年度普通作病虫害・雑草防除の手引き」を参照する。

(3) 防除にあたっては、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺への飛散(ドリフト)防止対策の徹底を図る。いもち病の防除薬剤は、水稻以外の作物には登録がないので、特に注意する。